

2024年度

枚方市立第四中学校
2年1学期シラバス集

学習進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点から評価をします。それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、以下の表に記します。なお、この評価は、枚方市立中学校統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※ 表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※ 表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定は「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばしてほしいと思います。

※ シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

4. 定期テスト・単元テストについて

今年度から、中間テストが廃止され、各学期末のみ定期テストが行われるようになります。その一方で、定期テストとは別に各単元や内容のまとまりごとに「単元テスト」を実施します。すでに行われている教科もありますが、これは、今まで以上に皆さんが学習したことが確実に身についているかをこまめに確認して評価していくためのテストです。細かく言うと…

- ① 定期テストは、各学期に学習したすべての内容を範囲として出題をします。出題にあたっては学習指導要領の趣旨をふまえ、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」などを総合的に、基礎基本の力がしっかりと定着しているか確認を行います。
- ② 単元テストは、単元ごと(教科によっては内容のまとまりごと)に授業で学習した指導内容が適切に身についているかの確認を行います。

〈イメージ図〉



※おおむね1つの学習内容について、「定期テスト」及び「単元テスト」について2つのテストで学習定着を見取ります。

また評価については、定期テストの占める割合が過度に大きくならないよう各教科で調整を行います。具体的には定期テストの割合が3割程度になるようにし、残りの評価材料(7割程度)については単元テストや平常点(提出物、レポート等)で行います。

定期テストの実施回数は減りますが、その分、単元テストやレポート課題などの提出物の回数を増やすことで、みなさんの学力をより細かく把握していくことになります。つまり、今まで以上に普段の授業や取り組み、家庭学習を大切に、計画を立てて学習を進める必要があります。

このシラバスでは、いつ、どのような形で単元テストが行われるかなどの予定についても各教科のせています。それを参考にして、見通しをもって学習を進めましょう。

国語【2年1学期】

単元名		到達目標
詩	「名づけられた葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・詩に込められたものの見方を捉える。
小説	「セミロングホームルーム」	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。 ・作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。
説明	「じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか」 「人間は他の星に住むことができるのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・漢字テストなどの小テスト ・授業中の取り組みの様子や提出物など 		
古文	「枕草子」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・個人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。
解説 短歌	「短歌の世界」 「短歌十首」	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。 ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。
文法	「形容詞・形容動詞」	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの品詞について理解し、学習したことを生かして問題に取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・漢字テストなどの小テスト ・授業中の取り組みの様子や提出物など 		

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	30%	定期テスト・小テスト・単元テスト等
思考・判断・表現	40%	定期テスト・小テスト・単元テスト・発表・作文・作品等
主体的に学習に取り組む態度	30%	提出物・ノート・授業態度等

社会【2年1学期】

分野	大単元	小単元	到達目標
歴史	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	1 中世ヨーロッパとイスラム世界	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解する。 ・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事業を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現する。
		2 ルネサンスと宗教改革	
3 ヨーロッパ世界の拡大			
4 ヨーロッパ人との出会い			
5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業			
6 兵農分離と秀吉の対外政策			
7 桃山文化			
・単元テスト【範囲】：小単元1から7 ・単元レポート(1回)			・振り返り、ノート… ・ドリルパーク
地理	日本の地域的特色と地域区分	1 地形から見た日本の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査となるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解する。 ・自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。
		2 気候から見た日本の特色	
3 自然災害と防災・減災への取り組み			
4 人口から見た日本の特色			
5 資源・エネルギーから見た日本の特色			
6 産業から見た日本の特色			
7 交通・通信から見た日本の特色			
8 日本を地域区分しよう			
・単元テスト【範囲】：小単元1から8(オセアニア州も入る)			・単元レポート(1回) ・振り返り、ノート ・ドリルパーク
歴史	江戸幕府の成立と対外政策	1 江戸幕府の成立と支配の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ・統一政権の諸政策の目的に着目して、事業を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現する。
		2 様々な身分と暮らし	
3 貿易の振興から鎖国へ			
4 鎖国下の対外関係			
5 琉球王国やアイヌ民族との関係			
・単元テスト【範囲】：小単元1から5			・単元レポート(1回) ・振り返り、ノート ・ドリルパーク
観点別学習状況の評価対象と内容			
① 知識・技能	(約 35%)	単元テスト・期末テスト・予習プリント	
② 思考・判断・表現	(約 35%)	単元レポート・期末テスト・振り返り・単元テスト	
③ 主体的に取り組む態度	(約 30%)	期末テスト・ドリルパーク・振り返り・ノート・授業に取り組む姿勢	

数学【2年1学期】

単元	到達目標
式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解することができる。 ・目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。 ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ・文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
	・単元テスト3回 レポート
連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解できる。 ・連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解ができる。 ・簡単な連立方程式を解くことができる。 ・一元一次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・連立方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。
	・単元テスト3回 レポート

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	(35%)	期末テスト・単元テスト等
思考・判断・表現等	(30%)	期末テスト・単元テスト・レポート等
主体的に学習に取り組む態度	(35%)	提出物・振り返りプリント・レポート・授業態度等

理科【2年1学期】

分野	単元	到達目標
理科A	<u>化学変化と原子と分子</u> 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化	・物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見出させる。また、物質は原子や分子からできていることがわかる。 ・原子や分子を化学式であらわすことができる。 ・化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができる。 ・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、班納前とは異なる物質が生成することを理解する。 ・さまざまな化学変化のようすを化学反応式で表すことができる。 ・化学反応の前後で熱の出入りがあることを理解する。
	単元テスト 3回	
理科B	<u>生物の体のつくりとはたらき</u> 1章 生物の体をつくるもの	・生物の体が細胞からできていることが理解できる。 ・単細胞生物と多細胞生物での身体のちがいを理解し、同じ役割のものやはたらきによって器官がつくられていることを説明することができる。 ・動物と植物の細胞の違いを説明することができる。 ・細胞呼吸のしくみを説明できる。
	単元テスト	1回実施予定
	2章 植物の体のつくりとはたらき	・光合成のしくみや目的について説明できる。 ・動物も植物も呼吸をしていることを理解できる。 ・植物の体のつくり(根・茎・葉)を理解し、植物の体の中の水の循環のようすを説明することができる。
	単元テスト 章末レポート	2回実施予定 1回実施予定
	3章 動物の体のつくりとはたらき	・動物が栄養分を取り入れるしくみを説明することができる。 ・消化のはたらきについて説明することができる。 ・呼吸のようすを理解することができる。
単元テスト	1回実施予定	

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・理解	(35%)	定期テスト・小テスト・単元テスト・ワークシート・その他提出物
思考・判断・表現	(35%)	定期テスト・ワークシート・単元テスト・実験レポート(考察)・その他提出物
主体的に学習に取り組む態度	(30%)	実験レポート(実験の取り組み)・ワークシート・ノート・白プリント・章末レポート・その他提出物

音楽【2年1学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	パートの役割を理解して、響きのある声で合唱しよう	・曲想の違いやパートの役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。
	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	・曲想と歌詞の結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。
器楽	LESSON3〈左手・右手、サミング〉	両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫して演奏することができる。
創作	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	イメージに合わせて、反復や変化などを用いて構成を工夫することができる。
鑑賞	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	オーケストラの豊かな響きを感じ取りながら、動機の繰り返しや変化に注目し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	小テスト(鑑賞:交響曲第5番ハ短調)・実技テスト(リコーダー:ラヴァーズコンチェルト、歌唱:夏の思い出)
思考・判断・表現(35%)	実技テスト(リコーダー:ラヴァーズコンチェルト、歌唱:夏の思い出)
主体的に学習に取り組む態度(30%)	・ワークシート(鑑賞:交響曲第5番ハ短調、創作:リズムアンサンブル) ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

美術【2年1学期】

分野	単元	到達目標
鑑賞	暮らしに息づく パブリックアート (画像)	・物や場所、大きさ、形や色彩、作者の思いなどに着目し、イメージと捉えて表現することができる(知識・技能)
		・自分らしい造形的なものの見方・感じ方を深めることができる(思考・判断・表現)
		・生活の中にある美術に気づいて、興味や関心を持ち意欲的に鑑賞に取り組むことができる。(主体的に学習に取り組む態度)
作品シート(10点)、鑑賞シート(10点)、提出(10点)		
デザイン	その1枚が人を動かす (イベントポスター)	・さまざまな技法を組み合わせ、デジタル機器やアナログ画材の特性を生かした表現をすることができる(知識・技能)
		・イメージを効果的に伝えるために、形や色の構図や言葉などの組み合わせを考えることができる
		・作者の意図を知り、鑑賞することができる(思考・判断・表現)
		・イメージを形にすることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる(主体的に学習に取り組む態度)
作品(50点)、計画表(30点)、インタビューシート(10点)、自己評価表(20点)、鑑賞シート(10点) 途中報告(10点)、Fシート(20点)、提出(10点)、取組意欲(10点)		
観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能 (30%:60点)		作品
思考・判断・表現 (40%:80点)		計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表
主体的に学習に取り組む態度 (30%:60点)		授業態度、Fシート、提出期限
(100%:200点)		

保健体育【2年1学期】

分野	単元	到達目標
体育	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通して、自己の心とからだは互いに関係していること、さらに他者の心とからだとも関わり合っていることに気づく。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する方法について考え、言葉や文章で表現する。
	・思考判断シート	・振り返り
	走り幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> ・助走のスピードとリズムカルな動きを生かして力強く踏み切り、より遠くへ跳ぶことができるようにする。 ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを言葉や文章で表現する。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。
	・技能テスト	・単元テスト ・思考判断シート ・振り返り
	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をする。 ・バットやボール操作の自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを言葉や文章で表現する。 ・マナーを守ったり、相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとする。
・技能テスト	・単元テスト ・思考判断シート ・振り返り	
保健	傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当を身に付ける。 ・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。
	・単元テスト	・思考判断シート ・振り返り

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	(約40%)	技能テスト、単元テスト
② 思考・判断・表現	(約30%)	思考・判断シート、単元テスト
③ 主体的に取り組む態度	(約30%)	振り返り、授業に取り組む姿勢

技術家庭【2年1学期】

分野	単元	到達目標
(技術) 情報の技術	情報の技術の原理・法則と仕組み	情報に関する技術の利用例や役割について関心を持つ コンピュータの構成やネットワークを伝える仕組みを知る。 情報を取り扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性を知り、情報の適切な利用ができる。 文書処理ソフトウェアの操作ができる。
	情報のデジタル化	
	ネットワークの仕組み	
	情報モラルとセキュリティ	
(家庭) 私たちの 住生活	住まいの役割と安全な住まいかた	○自然災害への備えを自分事として捉え、おうちでの備えを考え、実践することができる。 ○自分の将来の家を想像しながら表現することができる。
私たちの 食生活	調理のための食品の選択と購入	○生鮮食品や加工食品の特徴を知る。 ○食品を選ぶ際の情報を集め、適切な食品を選択することができる。 ○エシカル消費に注目した食品選択について考えることができる。

<p>観点別学習状況の評価対象と内容 以下の①②③を均等の割合で評価します</p>	
<p>①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>提出物・定期テスト・実習製作品 定期テスト・提出物・実習製作品 提出物・授業態度</p>

英語【2年1学期】

単元	到達目標
Starter This month's books	記事を読んで、概要を捉えることができる。
Lesson1 Peter Rabbit	接続詞(when, if, that)を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。また、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 イギリスの児童文学について、理解を深めることができる。
Take Action! Listen1 Take Action! Talk1 GET Plus1	必要な情報を聞き取ることができる。 質問したり、情報を付け加えることができる。 May I ...?の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
Lesson2 My Dream Project 1	to 不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。 to 不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)を理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 将来の夢や、将来したいことについてスピーチすることができる。
Take Action! Listen2 Take Action! Talk2 GET Plus2	話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。 意見を言うことができる。賛成することができる。 It is ... (for A) to ~.の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
Lesson3 Every Drop Counts	There is [are]....を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。 There is [are]....を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりすることができる。 動名詞を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。 動名詞を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりすることができる。 環境問題について書かれた記事を読み、身の回りの問題に目を向けることができる。
GET Plus3	must...や must not...の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。

観点別学習状況の評価対象と内容
<p>知識・技能(35%)…定期テスト、単元テスト等</p> <p>思考・判断・表現(35%)…定期テスト、単元テスト、暗唱テスト、パフォーマンステスト等</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(30%)…授業中の取り組み(ペアワーク活動・コミュニケーション活動等を含む)、 提出物等</p>